獣の通る道（1959）

メディア 映画
ジャンル アクション
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1959/02/24

【解説】
中村八朗の同名小説を「影なき声」の佐治乾が脚色し「母と拳銃」の関川秀雄が監督したアクションドラマ。撮影は「石合戦」の仲沢半次郎、音楽は「決闘街」の木下忠司。「無法街の野郎ども」の高倉健と「忠臣蔵　櫻花の巻・菊花の巻」の中村賀津雄が共演している。
不良少年の水原勉は、裏町を支配するヤクザの桑山に憧れていた。バー〈クール〉で働く妹マリは兄の勉を心配するが、桑山に見込まれた勉は麻薬密売を任されてしまう。喫茶店〈エトワール〉のマダムである圭子には谷雄という息子がいたが、彼は勉との間で不良少女の亜紀子を取り合っていた。マリが想いを寄せる〈エトワール〉のバーテンの鹿沢は、かつて殺人の罪で捕まったことがあり現在は保釈中の身だったが、桑山によって勉やマリの目の前で過去を明かされた。ある日、谷雄は亜紀子の家に忍び込み、そこで桑山の手下に見つかり射殺されてしまう。

【クレジット】
監督 関川秀雄
企画 斎藤安代
原作 中村八朗
脚本 佐治乾
撮影 仲沢半次郎
美術 進藤誠吾
音楽 木下忠司
出演 高倉健
中村賀津雄
佐久間良子
木村功
山東昭子
志村喬

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.